

英語「を」ではなく 英語「で」勉強する
ー日本にいながらできることー

松岡 和美

慶應義塾大学 経済学部教授(英語)

保険フォーラム 2010年7月10日

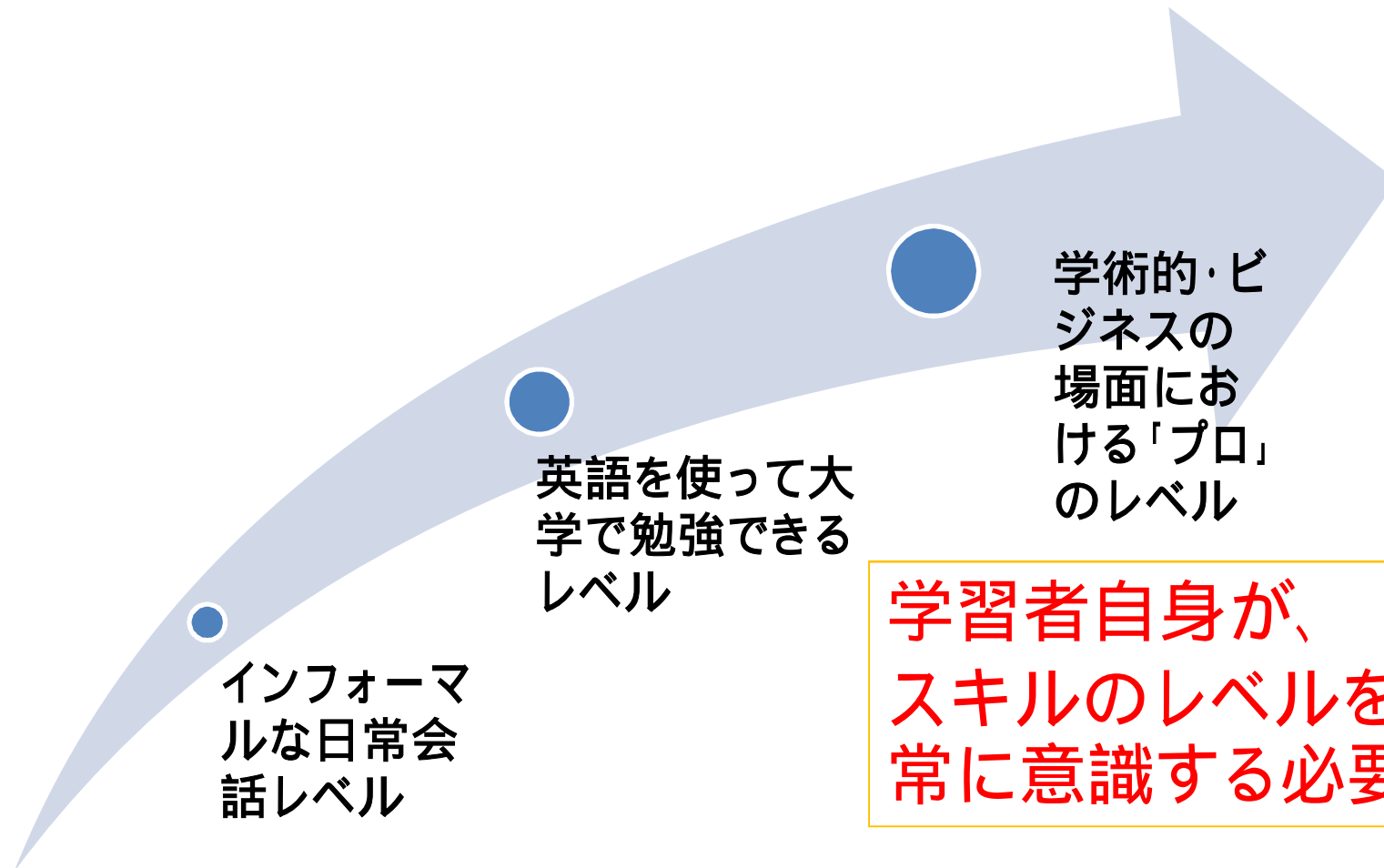
この講演の目的

(1) 英語「で」勉強することを主たる目的とする
カリキュラムの紹介

(慶應義塾大学経済学部の場合)

(2) 上記クラスの指導経験を踏まえた英語自習
教材の紹介

英語スキルの習得過程



経済学部：2種類の英語科目

英語Study Skills (半期集中・必修)



英語セミナー (選択必修)

中級

上級

特別上級



ゼミナール

PCP

研究プロジェクト

英語Study Skills (半期週2回)

ライティング(パラグラフ) 意見と3つの根拠・構成と論理関係・Unity/Coherence 一貫性

プレゼンテーション Body Language・論理的な構成(導入:サポート:まとめ)・図表の解説

リーディング(概要の作成) 結論と重要なサポートを明確化する

経済学部生は、ほぼ全員同じ基礎訓練を受けるので、「英語セミナー」では題材中心の指導が可能になる

英語セミナー（半期週2回）

ひとつのテーマについて**英語で**

文献購読

議論

発表・レポート

トピック例

- 近代科学の歴史を学ぶ
- 家族の社会学
- アメリカの高等教育システム
- 国境を越える人の移動と移民政策

「英語セミナー」の3つのレベル

- **中級**: Study Skillsで学んだ**スキルの確認と発展**(パラグラフからレポート等)授業運営はおおむね英語
- **上級**: 予習文献の量が増える。教員の課題設定が適切であれば、ディスカッションをすべて英語でできるレベル。授業運営は**すべて英語**で可能
- **特別上級**: **英語圏の大学の概論クラス**レベル+ライティングの指導。海外在住経験のない学生も履修

単なる「語学」クラスではない

「知識を得て、組み合わせ、表現するため」に

実践レベルで、どの程度の英語スキルがあればよいかを理解する

教養科目としての機能
(優秀な研究者の採用)

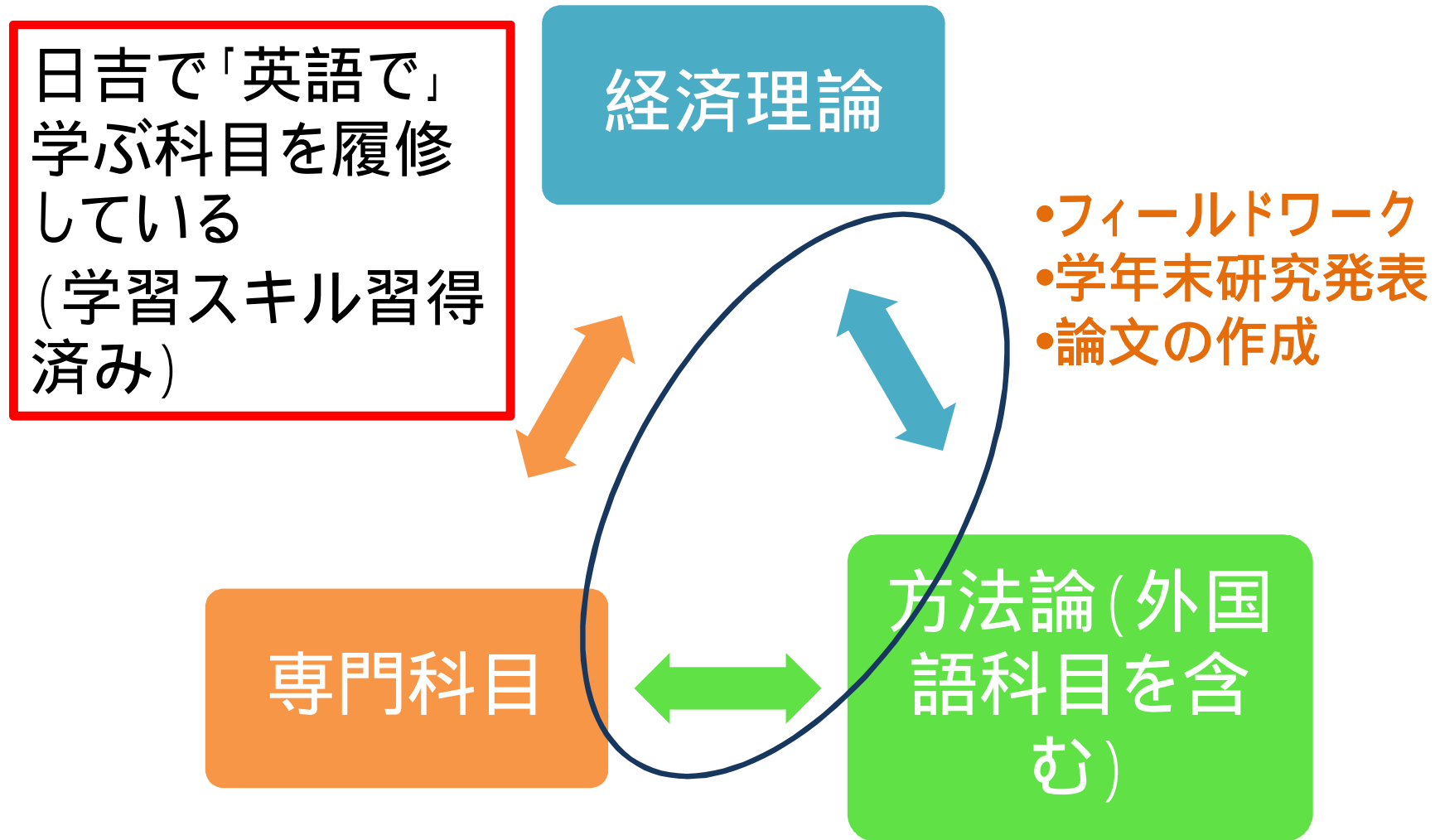
Professional Career Programme (PCP)

対象：国内外の専門大学院（professional schools）に進学し、世界的視野に立つ職業人としてのキャリアを築いていくことを目指す
学部3・4年生

内容：将来のキャリア形成に役立つ実践的な経済学教育を、**少人数クラスでかつ原則英語**で提供（国際経済・日本経済・ファイナンス・法と経済・環境経済）

2005年度より開始

PCPのカリキュラムデザイン



英語スキルの訓練：文法について

アウトプットスキルにおいて、基本的な文法は大事
(例： the second reason a second reason)

しかし、まずは「量」を扱えるように

「話す」「書く」の基本スキルを「自動化」させる

→自分が話している文の文法をチェックする余裕が生まれる

→書くときは、スペルチェッカーや英英辞典をなるべく使う

教材の選択

- 可能な限り、日本語の教材を避ける
【和訳・英訳しないという発想】
- 日本語訳を通して覚えた表現や文型は、英語環境では自由に使いこなせない
- (洋書など) すべて英語で書かれたもので勉強

リーディング

興味にあったものを、とにかくたくさん読む

20%しかわからないものを根性で読むのではなく、
80%わかるものを気軽に読む

(例：英字新聞で、予備知識がある記事を読む)

辞書は使わない

わからない単語やフレーズがあってもいちいち気にしない

「Timed Readings」シリーズ

速読 : Skimming → Reading

スピード (WPM) と理解 (70 ~ 80%) とのバランス
を意識する教材

10レベル

「Timed Readings Plus」分野別
(Mathematics, Social Studies, Science)

リスニング

80%程度わかる内容のものを使う

- シャドーイング(5～10分、難易度を調整)
- ディクテーション(5～10分程度)

途中でわからなくなっても中断しない
聞きとれる分だけ書きとめる

シャドーイング教材

- さまざまなレベル(初級のものから)
- 1回5分程度、週2～3回

- 「はじめてのシャドーイング」(学習研究社)
- 「決定版 英語シャドーイング入門編」
(コスモピア)
- 「VOAスタンダードーニュース英語トレーナー」(コスモピア)

リスニング(アクセント)

様々なアクセントをもつ英語に耳を慣らす

アクセントがあるのは当たり前という意識を持つ

「ナマった英語のリスニング」(The Japan Times)

「British English イギリス人はこう話す・こう考える」(ベレ出版)

スピーキング

シャドーイングを頻繁に
友達と英語で話すセッション
TOEFLのスピーキングセクションの訓練
「起きてから寝るまで」シリーズ (アルク)

スピーキング (Small Talk)

■ 欧米の対人コミュニケーションで重要な役割

'It's hot today, isn't it?' 'Hot and humid.'

'This line is moving slow, isn't it?'

'How's the new job?'

'That's a nice shirt. (Is it new?)'

■ パーティーなどで初対面の人に

'Do you work with Jessie?'

'Are you from this area?'

ライティング

構成を考えて書く

英語ライティングのパターンを理解する

基本的な文法に注意する

「英語パラグラフ・ライティング講座」(研究社)

ライティング教材

「Success with College Writing」(マクミラン)
エッセイの構成を明瞭に提示

「Writing Academic English」(Longman)
本格派

引用の仕方やグラフ等の説明方法の提示

文法の教材

「Grammar in Use」(Cambridge Univ Press)

- 実用的な解説・練習問題
- 4つのレベル(Basic, Intermediate, Upper Intermediate, Advanced)

英語が得意でもIntermediateから

ボキャブラリー教材

「Vocabulary in Use」 (Cambridge Univ Press)

- 様々なレベルとカテゴリー

まとめ

日本にいても、英語「で」情報を得るためのスキルを伸ばすことができる

なるべく英語だけで書かれた教材を使う

文法・ボキャブラリーを軽視しない(勉強を続ける)
しかし、**「量」**にこだわる